

荻窪病院だより



①腹腔鏡下手術



⑤単孔式腹腔鏡下の傷跡

①腹腔鏡での術中写真(標準式)。お腹に挿入した腹腔鏡が映し出す画像をモニターで見ながら、患部の治療を行います ②標準式での切開箇所 ③単孔式での切開箇所 ④おへそを切開し設置された単孔式ポート。ここから腹腔鏡や鉗子を挿入します ⑤盲腸を単孔式で手術した患者さんの術後写真。おへそは元通りになり、開腹や標準式腹腔鏡手術で見られるような傷がまったくありません

盲腸の手術は
すべて腹腔鏡で実施

2017年度の外科の手術件数は889件。そのうちの584件を腹腔鏡で行っています。盲腸は100%、胆肝

臓器の手術は腹腔鏡手術が主流といつてよいでしょう。

盲腸の手術は すべて腹腔鏡で実施

お腹に数カ所の穴を開け、モニターで腹腔内を見ながら行う腹腔鏡手術は傷口が数ミリととても小さいため治りが早く、入院期間が短くすむのが特徴です。特に、ほとんど傷跡が残らない「単孔式」を早くから導入してきた村井外科部長・病院長に話を聞きました。

脾良性疾患の手術は99%、胃がん・大腸がんの手術も9割を腹腔鏡で行っています(裏面ご参照)。腹腔鏡手術の良い点は、傷が小さいため患者さんへの負担が少なく、治りが早いことです。胆のう摘出の手術では、翌日に歩くことができ、通常2泊3日の入院ですみます。開腹手術に比べて感染や臓器の癒着のリスクが低く、消化器の手術は腹腔鏡手術が主流とい

傷が小さく、入院も短くすむ腹腔鏡手術。 特におへそから腹腔鏡を挿入する 「単孔式」は、ほとんど傷口が目立ちません。

当院は率先して 「単孔式」を導入

特におへそから腹腔鏡を入れる「単孔式」(上図)は、ほとんど手術の跡が見えず、お腹に傷を残したくない方に大変喜ばれています。当院はこの「単孔式」を2010年から取り入れてきました。標準の腹腔鏡では3〜5カ所、穴を空けるところ、単孔式ではおへそ1カ所から腹腔鏡や鉗子などを入れます。腹腔鏡の可動範囲は標準より狭くなるため、より高度で熟練した技術を要求されます。おへそに穴を空けることに怖さや感染を心配される方もいるようですが、手術中は全身麻酔で何も感じませんし、術後の痛みも標準の腹腔鏡と変わりません。また、おへそが感染しやすいというのではなく、昔はおへそをよけて行われていた開腹手術が今はストレートに切開されることがあるほどです。ただ清潔にしておくことは大事ですので「へそのごま



理事長 病院長 外科部長

村井 信二

むらい しんじ

←裏へ

荻窪病院は
地域医療に
貢献します

理念

患者さんへ安心で信頼される医療を提供します。
職員へやり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

1. 急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
2. 個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
3. 豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
4. 経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。

はきれいに処置してから手術に臨みます。

**選択肢が広がる
鼠径ヘルニアの手術**

なお鼠径ヘルニア（脱腸）の手術に関しては、当院では腹腔鏡でも行っていますが、「クーゲル法」というさらに患者さんの身体に負担のかからない術式でも行っています。

鼠径ヘルニアとは、腹圧により腸が腹壁から飛び出てしまった状態で、腹腔内に自然に戻っているうちはよいですが、戻らない場合（陥頓・かんとん）は、腸の壊死を引き起こし、命に関わるようになるため、早めの手術をおすすめしています。

「クーゲル法」は鼠径部を3〜5センチほど切開し、腹膜の外側からメッシュをあて、腹膜を広く補強する方法です。腹腔鏡で行うより、麻酔時間が短くすむため患者さんの身体にやさしく、また手術費も腹腔鏡で行うより抑え

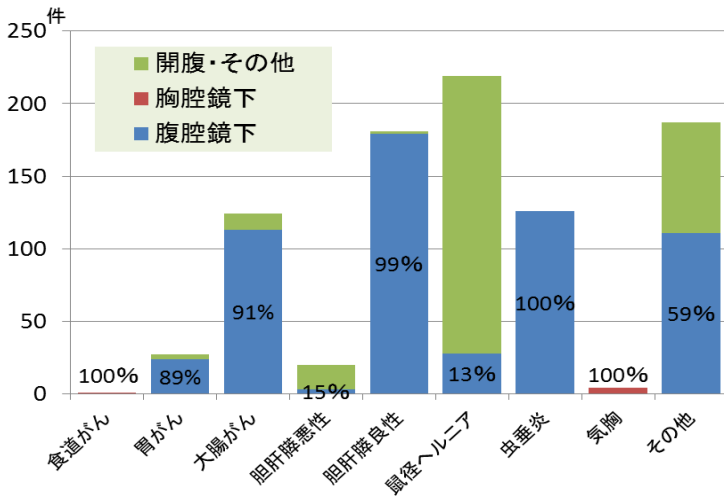
られるというメリットがあり、多くの患者さんに選択いただいています。

もちろん、審美的な理由などから単孔式腹腔鏡下での手術も可能です。

我々外科では、手術の前には患者さんの状態やご要望に合わせて術式の提案をしておりますので、何でもご相談ください。

2017年度 外科
疾患別 腹腔鏡下率

鼠径ヘルニアの多くは、腹腔鏡でなく鼠径部を小さく切開する「クーゲル法」で行っています



Ogikubo Hospital Topics

**鼻腔・口腔吸引手技認定試験に
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
全員が合格！**

リハビリテーション室では、チーム医療推進の一環として、患者さんの痰の吸引ができるよう「鼻腔・口腔吸引手技認定試験」に挑み、資格全員が合格いたしました。これまで



2018年11月の試験で、PT・OT・ST 全員が合格となったリハビリテーション室。スタッフみんなで笑顔の1枚。



では痰を出す手助けができて、吸引することができず看護師に依頼していましたが、これからは排痰訓練と併せて吸引も行うことで、患者さんの苦しい時間を短くすることができます。荻窪病院は、今後もさらに患者さんのためになるチーム医療に取り組んでまいります。

杉並区震度6を想定して
**大規模災害訓練を
実施いたしました**



12月15日（土）に大地震を想定した大規模災害訓練を実施しました。杉並保健所や杉

並区医師会の防災担当の先生にも参加いただき、傷病者のトリアージから各治療エリアへの搬送、入院、手術室への入室など災害時さながらに訓練を行いました。

当院は災害拠点病院であり、有事には地域の災害医療の要として責務を果たせるよう、年に2回、大規模災害訓練を行っています。



12月に青梅街道と環状8号線に設置された荻窪病院への道路標識にも災害拠点病院であることを表記が。

